

1 マンガのページ

子どもたちにも分かりやすく市のお金の流れについてマンガで紹介。お金の使い道をどうやって決めているのか、市議会の役割や対話を通じたまちづくりを描いています。

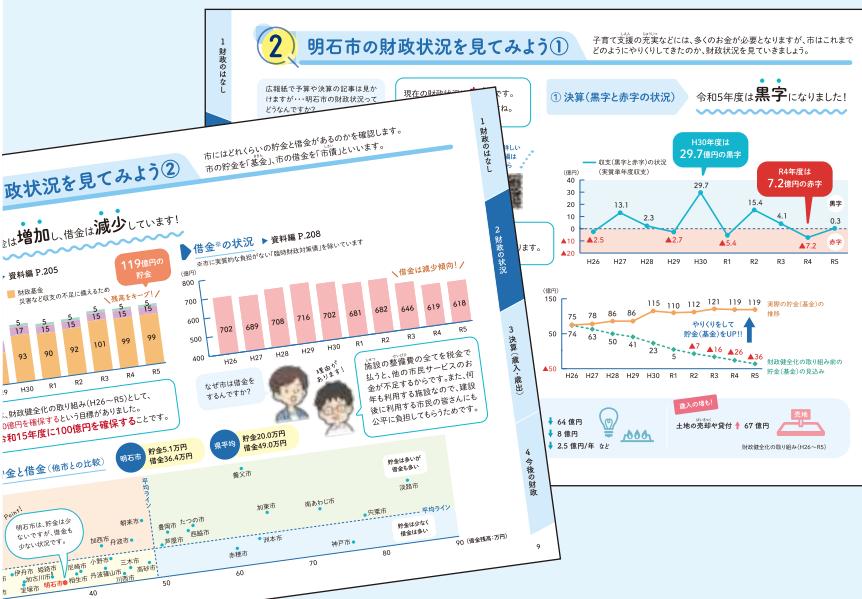


続きは
こちらから

2 財政状況を見てみよう のページ



市は、これまで財政健全化(収入の確保や支出の見直し)に取り組んでおり、現在の財政状況は良好です。
現在の貯金と借金の状況や今後の負担が県内29市平均を下回っている状況などを解説しています。

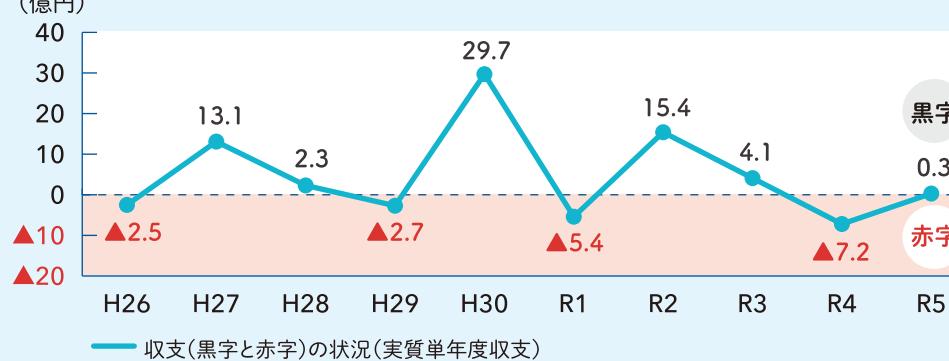


この10年間は、貯金は増加し、借金は減少傾向となっています。

▶ 貯金(3つの基金)の状況



令和5年度は黒字になりました

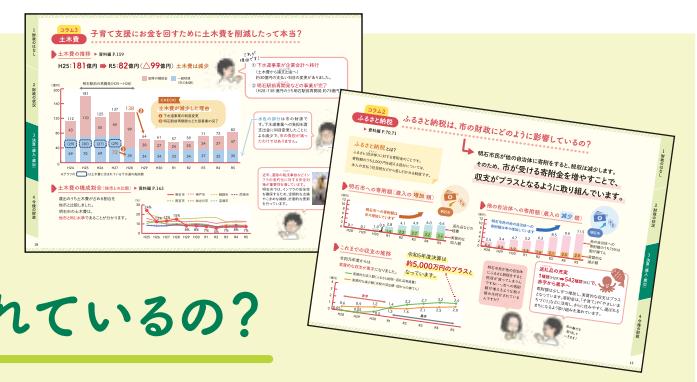


▶ 借金※の状況



3 もっと知りたい! コラムのページ

「人口と税収の関係」「ふるさと納税の財政への影響」「お金の使いみち」など8つのコラムを掲載。一部を紹介します。



私たちの税金は、どのようなサービスに使われているの?

お金の使いみち

ゴミ処理

ごみ処理や焼却、資源物のリサイクルの費用など
人口:306,760人(R6.1.1)

市民1人あたりに必要な経費

年間 11,082 円

年間
34
億円

ごみ処理車

消防・救急出動

消防や救急活動の経費
出動件数:17,121件(R5年度)

救急出動1回あたりに必要な経費

年間 33,871 円

年間
6
億円

消防車

高齢者への支援

医療費や敬老優待乗車券交付、
インフルエンザ等の予防接種助成など
65歳以上人口:80,182人(R6.1.1)

65歳以上の市民1人あたりに必要な経費

年間 84,503 円

年間
68
億円

高齢者施設

小学校の運営

学校施設の維持管理、給食、学校運営経費など
小学校児童数:17,143人(R5.5.1)

児童1人あたりに必要な経費

年間 182,286 円

年間
31
億円

小学校

道路や橋の整備・維持管理

道路や橋の整備、維持管理の経費など
人口:306,760人(R6.1.1)

市民1人あたりに必要な経費

年間 12,215 円

こども医療

18歳までの医療費を無料とするために必要な経費
こどもの人数:53,304人(R6.3.31)

こども1人あたりに必要な経費

年間 40,761 円

介護保険料

明石市の介護保険料は高い?

介護保険料(3年ごとに改定)

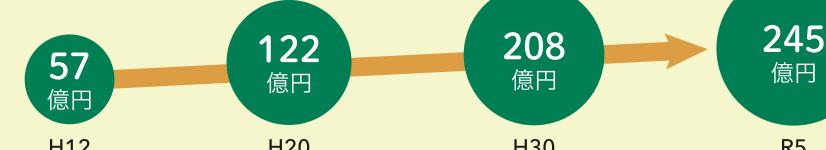
介護保険料が増加する要因

要介護認定等による利用者の増加に伴い、
介護保険事業費が年々増加しているからです。

介護保険料は、全国平均とほぼ同じです。



参考 年々増え続ける
介護保険事業費

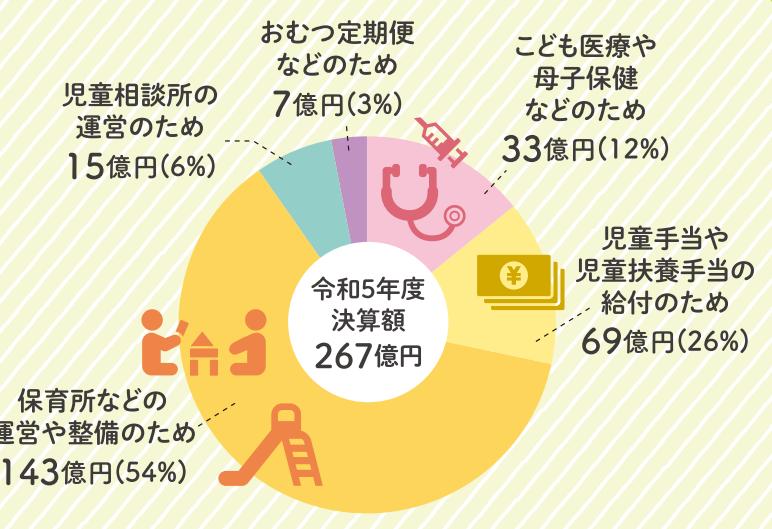


子どもにかかるお金は?

高校3年生までの医療費の無料化や第2子以降の保育料無料化など明石市は子育てサービスを充実してきました。子育て支援にかかるお金は増加しています。

児童福祉費

主に、子育て支援のためのお金で
平成25年度と比べて
2倍以上増加
しています。



財政白書にはこんなコラムがあるよ!

- 人口が増えると市への税収は増えるの?
- ふるさと納税は財政にどんな影響があるの?
- 土木費を削減したって本当?
- 預算はどんな目的に使われたの?など

